

東京都知事 殿

〔設置者の名称〕 学校法人杉野学園

〔代表者の役職〕 理事長 〔代表者の氏名〕 中村 賢二郎

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	ドレスメーカー学院
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校・専門 学 学校)
大学等の所在地	東京都品川区上大崎 4-6-19
学長又は校長の氏名	布矢 千春
設置者の名称	学校法人杉野学園
設置者の主たる事務所の所在地	東京都品川区上大崎 4-6-19
設置者の代表者の氏名	中村 賢二郎
申請書を公表する予定のホームページアドレス	https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

 確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

 更新確認申請書の提出

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

 この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知していません。 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	教務課長・曾根礼子	03-3491-6871	sone@sugino.ac.jp
第2号の1	同上	同上	同上
第2号の2	同上	同上	同上
第2号の3	同上	同上	同上
第2号の4	同上	同上	同上

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	ドレスメーカー学院
設置者名	学校法人杉野学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
服飾専門課程	服飾造形科	夜・通信	485 時間	80×2=160 時間	
	アパレル技術科	夜・通信	2870 時間	80×3=240 時間	
	ファッションビジネス科	夜・通信	695 時間	80×2=160 時間	
	高度アパレル専門科	夜・通信	2810 時間	80×4=320 時間	
	アパレルデザイン科	夜・通信	555 時間	80×1=80 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/teacher/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ドレスメーカー学院
設置者名	学校法人杉野学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.sugino.ac.jp/gakuen/facility/organization.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	専門学校 校長 株式会社 代表取締役	2023年3月30日 ～ 2025年3月29日	ドレスメーカー学院 の教学面の管理運営
非常勤	元株式会社 特別顧問	2023年3月30日 ～ 2025年3月29日	学園の経営方針
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ドレスメーカー学院 (服飾造形科(2年制) アパレル技術科(3年制) ファッションビジネス科(2年制) 高度アパレル専門科(4年制) アパレルデザイン科(進学クラス1年制))
設置者名	学校法人杉野学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>服飾造形科(2年制) アパレル技術科(3年制) ファッションビジネス科(2年制) 高度アパレル専門科(4年制) アパレルデザイン科(進学クラス1年制))</p> <p>【作成について】</p> <p>授業計画(シラバス)は授業科目ごとに担当する全教員が学院所定の「シラバス作成のためのガイドライン」に沿って統一様式で作成している。記載項目の冒頭は、担当教員の実務経験と授業内容との関連性を含めた「授業の方針・概要」。そして「到達目標(学修成果)」、「卒業認定の方針と該当授業科目の関連」、「授業計画」へと続く。「成績評価の方法と基準」は、当学院の評価項目(授業態度・姿勢、試験、課題、検定試験結果、企業評価)を全科目統一表記し、科目に適した比率を表示している。他にも「フィードバック方法」「教科書」「オフィスアワー」「参考文献」の項目を設けている。</p> <p>【時期について】</p> <p>授業実施年度の前年11月～12月よりクラス担当の専任教員と非常勤講師で内容を検討する。専任教員は12月に、非常勤講師は翌年1月に作成を依頼。専任教員、非常勤講師から提出された授業計画については、内容を第三者がチェックして、修正等をして3月初旬に完成させ、4月初旬に学生に配布、その後HPで公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/creative/ https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/biz/ https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/tech/ https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/high/ https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/adesign/

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位授与は、学則第6章の規定に従い実施している。</p> <p>履修した授業科目は、担当教員が総合的に判断・評価する。評価項目には「授業態度・姿勢」、「試験」、「課題」が含まれ、加えて授業内でプレゼンテーションを課すことで理解度を測りながら複合的に評価をする。また、「検定試験結果」「企業評価（インターンシップ）」も該当科目において評価基準としており、授業科目の内容により適切な方法で厳格かつ適正に評価する。評価項目の評点を合計し、100点満点における60点以上を合格としている。</p> <p>成績評価、進級・卒業判定の基準は学生全員に配布している冊子「Campus Guide & Diary」、各授業科目の評価方法は「授業計画（シラバス）」に明記して学生に周知し、適切に運用している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価はSABCを合格、Dを不合格としている。</p> <p>その評価基準は以下の通りである。</p> <p>S（特に優れている）：100～90点</p> <p>A（優れている）：89～80点</p> <p>B（妥当と認められる）：79～70点</p> <p>C（合格と認められる）：69～60点</p> <p>D（合格と認められる最低限の成果に達していない）：59点以下</p> <p>本学では作品の採点の科目も多く、その場合には、「平均的な基準はB評価」とし、また、成績評価の際の評価項目を「授業態度・姿勢」、「試験」、「課題」、「検定試験結果」、「企業評価」の5つに全科目統一することで、偏ることなく、適切に評価できる方法をとっている。その項目は「成績評価の方法と基準」としてシラバスに明示している。成績分布状況については、学生の成績の平均点により把握している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/m_act/evaluation/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定のための必須科目は、ディプロマポリシーに掲げる科別の教育目的に従って、服飾関係の専門的職業で活躍できる人材育成を目指し構成されている。必須科目の学科担当教員がシラバスに明記した方針に基づき、学修成果を評価し、卒業認定を行っている。</p> <p>3年制以上の上級クラスの卒業制作においては、複数名の外部審査員を招いたコンテスト形式による客観的な評価・採点を基に成績評価を行っている。</p> <p>また、2年制の科においても卒業制作の成績評価は、数名の外部審査員による客観的な評価・採点を基に行っている。</p> <p>卒業認定については、「ディプロマポリシー」（称号付与の方針）に明記し、学生全員に配布している冊子「Campus Guide & Diary」とHPに掲載し、公表している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/policy/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ドレスメーカー学院
設置者名	学校法人杉野学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/
収支計算書又は損益計算書	https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/
財産目録	https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/
事業報告書	https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/
監事による監査報告（書）	https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家庭		服飾専門課程	服飾造形科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1775 単位時間/単位	200 単位時間 /単位	630 単位時間 /単位	1290 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2120 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140人		65人	4人	4人	18人	22人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.及び3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要）担当講師が課題制作の進捗状況を常に把握しながら、放課後に教室を開放して自習させるなど、遅れが生じることのないように支援している。 授業担当講師が学生の相談受付を受ける時間を「オフィスアワー」としてシラバス上で公開しているほか、随時、担任教員を介してコミュニケーションをとり、支援していくことが可能となっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
28人 (100%)	11人 (39.3%)	9人 (32.1%)	8人 (28.6%)
（主な就職、業界等） 製造業（㈱おしゃれ工房、ソーイングアサヒ㈱、㈱ビックママ、㈱フォルムアイ） 小売業（㈱キャン、㈱ジェニィ、㈱オンリー）など、ファッション関連企業			
（就職指導内容） 就職活動対策（1年次授業／業界・企業研究、エントリーシート・履歴書対策講座、面接対策講座など）就職個別面談（就職相談、書類添削、面接練習など）			
（主な学修成果（資格・検定等）） 洋裁技術認定試験、ファッション色彩能力検定、ファッションビジネス能力検定、 フォーメクスペシャリスト検定、パターンメイキング技術検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
72人	4人	5.6%
（中途退学の主な理由） 学業遅滞を契機とする専攻分野不適合や進路再検討が退学理由の半数を占める。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学院ではクラス担任と学科長による相談、及び保護者への連絡、更に科目担当教員による働きかけの活用、メンタル面では専任のカウンセラーを配置した学生相談室や看護師が在室する医務室と連携して、学生に接しながら、関係者が協力して退学の予防を図っている。 クラス担任は日常の出欠席、遅刻の確認と学校生活、授業態度等の確認を定期的及び必要により随時行い、欠席、遅刻、作品遅滞の多い学生の状況を把握し、退学の兆候を見逃さないようにしている。 また、授業科目ごとにオフィスアワーを設けており、授業担当教員に質問しやすい環境を整えることで、中途退学者の予防の強化に努めている。2018年度から「退学・除籍経緯報告書」を実施しており、退学者軽減のためのデータ分析が行える状況を整えている。 毎年、1年生には入学時と11月の2回、2年生では11月に1回保護者会を実施しているが（2022年度はコロナ禍のため中止）、問題のある学生には保護者との連携を密にして、欠席、遅刻、課題遅滞の状況を伝え、退学の予防に努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家庭		服飾専門課程	アパレル技術科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			365 単位時間 /単位	735 単位時間 /単位	2310 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
3年	昼間	2750 単位時間/単位	3410 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		33人	1人	4人	18人	22人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.及び3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要）担当講師が課題制作の進捗状況を常に把握しながら、放課後に教室を開放して自習させるなど、遅れが生じることのないように支援している。 授業担当講師が学生の相談受付を受ける時間を「オフィスアワー」としてシラバス上で公開しているほか、随時、担任教員を介してコミュニケーションをとり、支援していくことが可能となっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	6人 (75.0%)	2人 (25.0%)
（主な就職、業界等） 製造業（㈱タップ、(有)ファッションしらいし、(有)工房いち、㈱ニイニ、杜の都なつみ メディカルソーイング㈱）小売業（㈱adart retailing）など、ファッション関連企業			
（就職指導内容） 就職ガイダンス（業界・企業研究、エントリーシート・履歴書対策講座、面接対策講座 など）就職個別面談（就職相談、書類添削、面接練習など）			
（主な学修成果（資格・検定等）） 洋裁技術認定試験、ファッション色彩能力検定、ファッションビジネス能力検定、 パターンメイキング技術検定、フォーマルスペシャリスト検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36 人	5 人	13.9%
<p>(中途退学の主な理由) 学業遅滞を契機とする専攻分野不適応や進路再検討が退学理由の半数を占める。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学院ではクラス担任と学科長による相談、及び保護者への連絡、更に科目担当教員による働きかけの活用、メンタル面では専任のカウンセラーを配置した学生相談室や看護師が在室する医務室と連携して、学生に接しながら、関係者が協力して退学の予防を図っている。</p> <p>クラス担任は日常の出欠席、遅刻の確認と学校生活、授業態度等の確認を定期的及び必要により随時行い、欠席、遅刻、作品遅滞の多い学生の状況を把握し、退学の兆候を見逃さないようにしている。</p> <p>また、授業科目ごとにオフィスアワーを設けており、授業担当教員に質問しやすい環境を整えることで、中途退学者の予防の強化に努めている。2018 年度から「退学・除籍経緯報告書」を実施しており、退学者軽減のためのデータ分析が行える状況を整えている。</p> <p>毎年、1 年生には入学時と 11 月の 2 回、2 年生では 11 月に 1 回保護者会を実施しているが（2022 年度はコロナ禍のため中止）、問題のある学生には保護者との連携を密にして、欠席、遅刻、課題遅滞の状況を伝え、退学の予防に努めている。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家庭		服飾専門課程	ファッションビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			245 単位時間 /単位	1035 単位時間 /単位	570 単位時間 /単位	単位時間 /単位	
2年	昼間	1730 単位時間/単位	1850 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		7人	0人	1人	16人	21人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2. 及び3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要）担当講師が課題制作の進捗状況を常に把握しながら、放課後に教室を開放して自習させるなど、遅れが生じることのないように支援している。 授業担当講師が学生の相談受付を受ける時間を「オフィスアワー」としてシラバス上で公開しているほか、随時、担任教員を介してコミュニケーションをとり、支援していくことが可能となっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	0人 (0.0%)	2人 (40.0%)	3人 (60.0%)
（主な就職、業界等） アパレルメーカー（㈱アダストリア、㈱ファーイーストカンパニー） 小売業（㈱TOKYO BASE、F. CDM㈱）など、ファッション関連企業			
（就職指導内容） 就職活動対策（1年次授業/業界・企業研究、エントリーシート・履歴書対策講座、面接対策講座など）就職個別面談（就職相談、書類添削、面接練習など）			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッション色彩能力検定、ファッションビジネス能力検定、ファッション販売能力検定、フォーマルスペシャリスト検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	2人	22.2%
<p>(中途退学の主な理由) 学業遅滞を契機とする専攻分野不適応や進路再検討が退学理由の半数を占める。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学院ではクラス担任と学科長による相談、及び保護者への連絡、更に科目担当教員による働きかけの活用、メンタル面では専任のカウンセラーを配置した学生相談室や看護師が在室する医務室と連携して、学生に接しながら、関係者が協力して退学の予防を図っている。</p> <p>クラス担任は日常の出欠席、遅刻の確認と学校生活、授業態度等の確認を定期的及び必要により随時行い、欠席、遅刻、作品遅滞の多い学生の状況を把握し、退学の兆候を見逃さないようにしている。</p> <p>また、授業科目ごとにオフィスアワーを設けており、授業担当教員に質問しやすい環境を整えることで、中途退学者の予防の強化に努めている。2018年度から「退学・除籍経緯報告書」を実施しており、退学者軽減のためのデータ分析が行える状況を整えている。</p> <p>毎年、1年生には入学時と11月の2回、2年生では11月に1回保護者会を実施しているが(2022年度はコロナ禍のため中止)、問題のある学生には保護者との連携を蜜にして、欠席、遅刻、課題遅滞の状況を伝え、退学の予防に努めている。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家庭		服飾専門課程	高度アパレル専門科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3831 単位時間/単位	321 単位時間 /単位	900 単位時間 /単位	2730 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3951 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		26人	0人	4人	29人	33人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2. 及び3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要）担当講師が課題制作の進捗状況を常に把握しながら、放課後に教室を開放して自習させるなど、遅れが生じることのないように支援している。 授業担当講師が学生の相談受付を受ける時間を「オフィスアワー」としてシラバス上で公開しているほか、随時、担任教員を介してコミュニケーションをとり、支援していくことが可能となっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） アパレルメーカー（㈱東京芸夢）小売業（㈱ギャラリー・ド・ポップ、㈱ファーイーストカンパニー）など、ファッション関連企業			
（就職指導内容） 就職ガイダンス（業界・企業研究、エントリーシート・履歴書対策講座、面接対策講座など）就職個別面談（就職相談、書類添削、面接練習など）			
（主な学修成果（資格・検定等）） 洋裁技術認定試験、ファッションビジネス能力検定、パターンメイキング技術検定、ファッション色彩能力検定、ファッション販売能力検定、フォーマルスペシャリスト検定			
（備考）（任意記載事項） 上記就職業界、学修成果等は2021年度卒業生の状況を記載。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21 人	3 人	14.2%
<p>(中途退学の主な理由) 学業遅滞を契機とする専攻分野不適応や進路再検討が退学理由の半数を占める。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学院ではクラス担任と学科長による相談、及び保護者への連絡、更に科目担当教員による働きかけの活用、メンタル面では専任のカウンセラーを配置した学生相談室や看護師が在室する医務室と連携して、学生に接しながら、関係者が協力して退学の予防を図っている。</p> <p>クラス担任は日常の出欠席、遅刻の確認と学校生活、授業態度等の確認を定期的及び必要により随時行い、欠席、遅刻、作品遅滞の多い学生の状況を把握し、退学の兆候を見逃さないようにしている。</p> <p>また、授業科目ごとにオフィスアワーを設けており、授業担当教員に質問しやすい環境を整えることで、中途退学者の予防の強化に努めている。2018 年度から「退学・除籍経緯報告書」を実施しており、退学者軽減のためのデータ分析が行える状況を整えている。</p> <p>毎年、1 年生には入学時と 11 月の 2 回、2 年生では 11 月に 1 回保護者会を実施しているが（2022 年度はコロナ禍のため中止）、問題のある学生には保護者との連携を蜜にして、欠席、遅刻、課題遅滞の状況を伝え、退学の予防に努めている。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家庭		服飾専門課程	アパレルデザイン科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			60 単位時間 /単位	150 単位時間 /単位	810 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
1年	昼間	930 単位時間/単位	1020 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
35人		10人	0人	1人	8人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2. 及び3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要）担当講師が課題制作の進捗状況を常に把握しながら、放課後に教室を開放して自習させるなど、遅れが生じることのないように支援している。 授業担当講師が学生の相談受付を受ける時間を「オフィスアワー」としてシラバス上で公開しているほか、随時、担任教員を介してコミュニケーションをとり、支援していくことが可能となっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	1人 (12.5%)	4人 (50.0%)	3人 (37.5%)
（主な就職、業界等） 製造業（株ワールドインダストリーファブリック岡山技術研究所、株タップ、有越宙夢、株ビックママ）など、ファッション関連企業			
（就職指導内容） 就職ガイダンス（業界・企業研究、エントリーシート・履歴書対策講座、面接対策講座など）就職個別面談（就職相談、書類添削、面接練習など）			
（主な学修成果（資格・検定等）） 洋裁技術認定試験、ファッションビジネス能力検定、パターンメイキング技術検定、ファッション色彩能力検定、ファッション販売能力検定、フォーマルスペシャリスト検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	1人	11.1%
<p>(中途退学の主な理由) 学業遅滞を契機とする専攻分野不適応や進路再検討が退学理由の半数を占める。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学院ではクラス担任と学科長による相談、及び保護者への連絡、更に科目担当教員による働きかけの活用、メンタル面では専任のカウンセラーを配置した学生相談室や看護師が在室する医務室と連携して、学生に接しながら、関係者が協力して退学の予防を図っている。</p> <p>クラス担任は日常の出欠席、遅刻の確認と学校生活、授業態度等の確認を定期的及び必要により随時行い、欠席、遅刻、作品遅滞の多い学生の状況を把握し、退学の兆候を見逃さないようにしている。</p> <p>また、授業科目ごとにオフィスアワーを設けており、授業担当教員に質問しやすい環境を整えることで、中途退学者の予防の強化に努めている。2018年度から「退学・除籍経緯報告書」を実施しており、退学者軽減のためのデータ分析が行える状況を整えている。</p> <p>毎年、1年生には入学時と11月の2回、2年生では11月に1回保護者会を実施しているが(2022年度はコロナ禍のため中止)、問題のある学生には保護者との連携を蜜にして、欠席、遅刻、課題遅滞の状況を伝え、退学の予防に努めている。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
服飾造形科	150 千円	580 千円	225 千円	施設設備費 140 千円実験実習費 85 千円 休学時在籍料(前・後期各 50 千円)
アパレル技術科	150 千円	580 千円	225 千円	施設設備費 140 千円実験実習費 85 千円 休学時在籍料(前・後期各 50 千円)
ファッション ビジネス科	150 千円	580 千円	225 千円	施設設備費 140 千円実験実習費 85 千円 休学時在籍料(前・後期各 50 千円)
高度アパレル 専門科	150 千円	580 千円	225 千円	施設設備費 140 千円実験実習費 85 千円 休学時在籍料(前・後期各 50 千円)
アパレル デザイン科	150 千円	580 千円	225 千円	施設設備費 140 千円実験実習費 85 千円 休学時在籍料(前・後期各 50 千円)
修学支援 (任意記載事項)				
<p>本学では経済的理由により修学困難な学生に、また受験時、入学時に納付金納入軽減措置として以下の給付型奨学金制度を設けている。</p> <p>在学生対象:杉野学園奨学金、杉野学園利子補給奨学金、杉野学園緊急奨学金 新入生対象:同窓生特別免除制度(選考料免除)、杉野学園新入生奨学金、全国ファッションデザインコンテスト奨励金(本学主催による「全国ファッションデザインコンテスト」高校生 の部において優秀な成績を修めたものに入学金を免除している。</p>				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレスまたは刊行物等の名称及び入手方法)		
情報公開	https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure/	
2022 年度	https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/media/jikohyouka2022_d.pdf	
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
(1) 規程の整備		
本学院では、文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン」に従い、平成 28 (2016) 年 4 月「ドレスメーカー学院学校関係者評価委員会規程」を制定。		
(2) 組織体制の整備、毎年度の実施		
「ドレスメーカー学院学校関係者評価委員会規程」に基づき、「学校関係者評価委員会」を組織して実施体制を整備し、平成 28 (2016) 年度より年 2 回学校関係者評価委員会を実施。		
(3) 委員の選任		
学校関係者評価委員は、業界団体関係者 1 名、企業関係者 1 名、教育関係者 1 名の合計 3 名で編成。		
(4) 改善への取り組み		
学校関係者評価委員会で指摘された課題については、改善できる可能性の高い順に取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
ファッションビジネス学会理事 コンサルタント会社経営者	令和 4 年 4 月 1 日～ 令和 6 年 3 月 31 日	業界団体関係者
服飾専門学校理事長 NPO 法人理事長	令和 4 年 4 月 1 日～ 令和 6 年 3 月 31 日	卒業生 教育関係者

百貨店の社外取締役 コンサルタント会社経営者 百貨店の元代表取締役	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日	企業関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
情報公開 https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure/ 2022年度 https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/media/2022gakkoukankeisya.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		
https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure/hyouka/		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H113310900029
学校名	ドレスメーカー学院
設置者名	学校法人 杉野学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		21人	19人	22人
内 訳	第Ⅰ区分	一人	一人	
	第Ⅱ区分	一人	一人	
	第Ⅲ区分	一人	一人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				22人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	一人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	一人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	一人	0人	一人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	一人
計	一人	0人	一人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。